



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年1月30日

上場会社名 株式会社杉村倉庫 上場取引所 東
 コード番号 9307 URL <http://www.sugimura-wh.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 柴山 恒晴
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長 (氏名) 安西 史朗 (TEL) 06-6571-1221
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	7,600	2.0	877	15.1	828	15.1	659	△7.9
30年3月期第3四半期	7,452	△1.7	762	△3.0	720	△1.8	715	55.8
(注) 包括利益 31年3月期第3四半期	458百万円(△35.8%)				30年3月期第3四半期		714百万円(138.1%)	
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
31年3月期第3四半期	40	68	40	30				
30年3月期第3四半期	44	80	44	23				

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	23,696	12,234	51.5
30年3月期	24,942	11,853	47.4
(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期	12,204百万円		30年3月期 11,822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
30年3月期	—	3.00	—	3.50	6.50
31年3月期	—	3.00	—		
31年3月期(予想)				3.50	6.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(%表示は、対前期増減率)

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	10,000	△0.7	1,080	3.2	1,030	5.7	820	△26.9	50.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	16,282,110株	30年3月期	16,236,310株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	66,763株	30年3月期	66,685株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	16,201,585株	30年3月期3Q	15,977,240株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業の業績や雇用情勢の改善により回復基調にあるものの、米中の貿易摩擦の進展や世界経済の動向が景気に与える影響などで、先行きは不透明な状況となっております。

倉庫物流業界におきましては、荷主顧客が物流部門にコスト削減を求め中、慢性的な人手不足を背景に引き続き厳しい事業環境が継続しております。このような情勢のもと、当社グループは業務のより一層の効率化を行い高品質の物流サービスを提供して、顧客満足度を向上させることを目指してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの営業収益は76億円となり、前年同四半期に比べ1億4千7百万円(2.0%)の増収となりました。営業原価は60億5千8百万円となり、前年同四半期に比べ6千1百万円減少(1.0%)減少しましたが、販売費及び一般管理費は6億6千4百万円となって、前年同四半期に比べ9千4百万円(16.6%)増加しました。

これらにより営業利益は8億7千7百万円となり、前年同四半期に比べ1億1千5百万円(15.1%)の増益となり、経常利益は8億2千8百万円となって、前年同四半期に比べ1億8百万円(15.1%)の増益となりました。特別利益に投資有価証券売却益を2億9百万円、台風の被害による受取保険金を1千万円計上し、また、特別損失に台風による修繕費用の見積り額を災害による損失として9千5百万円計上しました。しかし、前年同四半期に対し法人税等合計が増加しましたので、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億5千9百万円となり、前年同四半期に比べ5千6百万円(7.9%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(物流事業)

当第3四半期連結累計期間は、前年同四半期に比べ米や電気機械などの取扱が減少しましたが、食料品や青果物、輸入雑貨などの取扱いが増加しました。外部顧客に対する営業収益は63億7千万円となり、前年同四半期に比べ1億2千万円(1.9%)の増収となりました。また、減価償却費や賃借使用料等が減少し、セグメント利益は4億2千8百万円となり、前年同四半期に比べ1億7千1百万円(66.7%)の増益となりました。

(不動産事業)

既存顧客の賃貸エリアの増床や新規顧客の増加により、外部顧客に対する営業収益は9億9千1百万円となり、前年同四半期に比べ3千2百万円(3.3%)の増収となりました。しかし、修繕費等が増加したことなどにより、セグメント利益は前年同四半期並みの7億9千4百万円となりました。

(その他の事業)

ゴルフ練習場は前年同四半期に比べ入場者数が減少し、営業収益は1億7千2百万円となりました。費用面では人件費等が増加しましたので、前年同四半期に比べ減収減益となりました。

売電事業は営業収益が6千5百万円となり、やや前年同四半期を下回りましたが、減価償却費が減少しましたので、前年同四半期に比べ減収増益となりました。

以上により、その他の事業の営業収益は2億3千8百万円となり、前年同四半期に比べ4百万円(1.8%)の減収となりました。セグメント利益は7千6百万円となり、前年同四半期に比べ2百万円(3.5%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は236億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億4千6百万円減少しました。これは、流動資産において現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少し、固定資産において建物及び構築物が減少したことなどによります。負債合計は114億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億2千7百万円減少しました。これは、流動負債において未払法人税等、未払消費税等などが減少し、固定負債において長期借入金や厚生年金基金解散損失引当金が減少したことなどによります。純資産合計は122億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8千万円増加しました。これは、株主資本の利益剰余金が増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、現在のところ概ね期初予想に沿って推移しており、平成30年4月27日に公表した連結業績予想を据え置いております。今後何らかの変更がある場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,739,745	4,511,006
受取手形及び売掛金	1,092,612	903,900
リース投資資産(純額)	2,314,325	2,279,935
未収還付法人税等	—	25,320
その他	65,322	115,583
貸倒引当金	△3,901	△3,798
流動資産合計	8,208,103	7,831,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,683,039	8,303,521
機械装置及び運搬具(純額)	677,384	599,658
工具、器具及び備品(純額)	179,376	162,844
土地	4,521,172	4,521,172
リース資産(純額)	27,347	19,647
有形固定資産合計	14,088,320	13,606,845
無形固定資産		
借地権	295,290	295,290
その他	31,729	70,443
無形固定資産合計	327,019	365,733
投資その他の資産		
投資有価証券	1,893,866	1,521,547
繰延税金資産	188,683	134,574
その他	258,044	257,039
貸倒引当金	△21,387	△21,387
投資その他の資産合計	2,319,207	1,891,774
固定資産合計	16,734,547	15,864,352
資産合計	24,942,650	23,696,299

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	367,019	277,218
1年内返済予定の長期借入金	1,314,758	1,244,692
未払金	310,390	148,385
リース債務	12,384	12,384
未払法人税等	206,205	3,278
未払消費税等	246,436	53,936
賞与引当金	167,066	86,586
未払費用	250,374	282,775
災害損失引当金	—	55,154
その他	125,453	142,804
流動負債合計	3,000,087	2,307,216
固定負債		
長期借入金	8,591,189	7,719,580
長期預り金	241,854	241,627
リース債務	22,443	13,155
繰延税金負債	223,450	233,811
役員退職慰労引当金	162,401	183,878
厚生年金基金解散損失引当金	71,770	—
退職給付に係る負債	738,093	724,391
資産除去債務	34,144	34,480
その他	3,870	3,870
固定負債合計	10,089,217	9,154,794
負債合計	13,089,305	11,462,011
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,598,427	2,613,117
資本剰余金	2,378,328	2,392,992
利益剰余金	6,142,587	6,696,425
自己株式	△18,127	△18,199
株主資本合計	11,101,216	11,684,335
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	748,956	544,069
退職給付に係る調整累計額	△27,926	△23,611
その他の包括利益累計額合計	721,030	520,458
新株予約権	31,099	29,495
純資産合計	11,853,345	12,234,288
負債純資産合計	24,942,650	23,696,299

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
営業収益	7,452,474	7,600,352
営業原価	6,120,615	6,058,893
営業総利益	1,331,858	1,541,458
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	316,581	358,186
その他	253,148	306,008
販売費及び一般管理費合計	569,729	664,194
営業利益	762,128	877,264
営業外収益		
受取利息	39	30
受取配当金	37,365	33,332
持分法による投資利益	3,783	—
社宅使用料	15,841	18,498
その他	23,926	17,117
営業外収益合計	80,957	68,978
営業外費用		
支払利息	97,087	83,663
その他	25,882	33,588
営業外費用合計	122,969	117,251
経常利益	720,116	828,991
特別利益		
固定資産売却益	95,922	—
投資有価証券売却益	237,876	209,397
関係会社株式売却益	30,480	—
受取保険金	—	10,752
特別利益合計	364,279	220,149
特別損失		
災害による損失	—	95,172
減損損失	325,397	—
投資有価証券売却損	750	197
特別損失合計	326,148	95,369
税金等調整前四半期純利益	758,248	953,771
法人税、住民税及び事業税	119,181	145,325
法人税等調整額	△76,631	149,368
法人税等合計	42,549	294,694
四半期純利益	715,698	659,077
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	715,698	659,077

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	715,698	659,077
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,552	△204,886
退職給付に係る調整額	5,360	4,314
持分法適用会社に対する持分相当額	△406	—
その他の包括利益合計	△1,598	△200,572
四半期包括利益	714,100	458,504
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	714,100	458,504
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	不動産事業	その他の 事業	計		
営業収益						
外部顧客に対する営業 収益	6,250,780	959,325	242,368	7,452,474	—	7,452,474
セグメント間の内部営 業収益又は振替高	22,680	112,814	32,400	167,894	△167,894	—
計	6,273,460	1,072,140	274,768	7,620,369	△167,894	7,452,474
セグメント利益	257,177	794,114	79,079	1,130,371	△368,243	762,128

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額368,243千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用であります。全社費用は、親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「物流事業」セグメントにおいて、大阪港営業所の倉庫の一部の取壊しを決定したことによる減損損失を当第3四半期連結累計期間において特別損失に325,397千円計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	不動産事業	その他の 事業	計		
営業収益						
外部顧客に対する営業 収益	6,370,862	991,398	238,091	7,600,352	—	7,600,352
セグメント間の内部営 業収益又は振替高	22,320	112,814	32,040	167,174	△167,174	—
計	6,393,182	1,104,213	270,131	7,767,527	△167,174	7,600,352
セグメント利益	428,723	794,132	76,289	1,299,145	△421,881	877,264

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額421,881千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用であります。全社費用は、親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。